

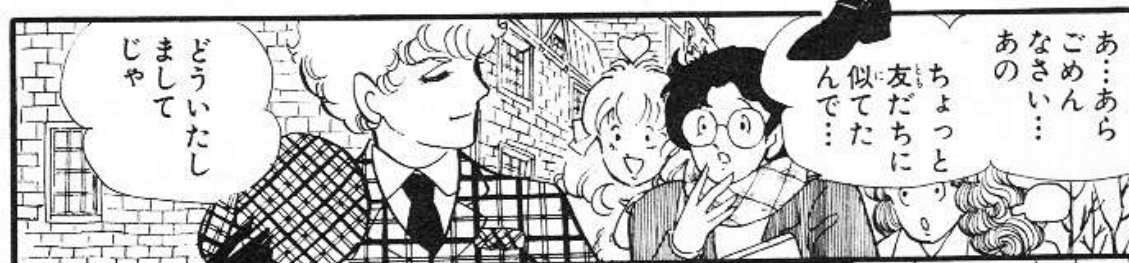
エデイス

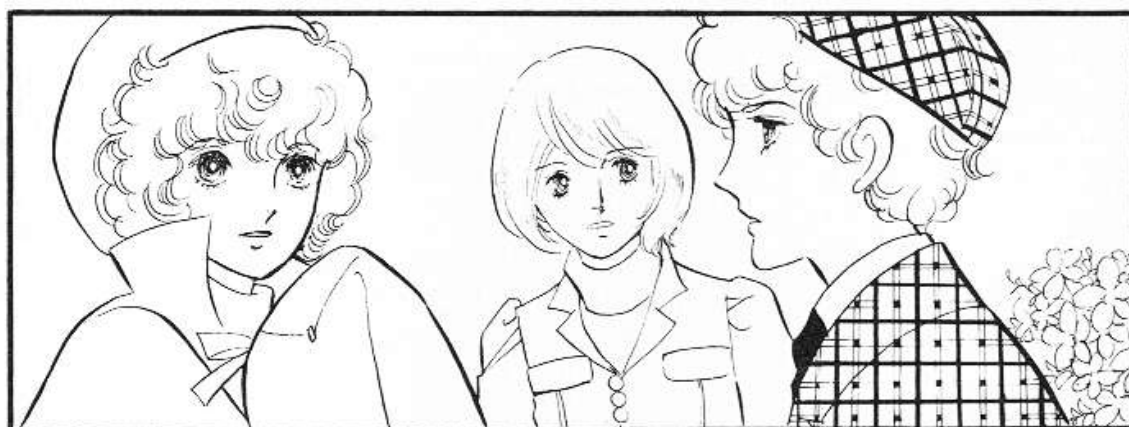


時の輪よ
めぐりめぐれ
生命のふたたび
生まれるまでに

時の風よ
ときよ夢よ
走り 走れ
輝きのいまだ
見えぬ地平へ

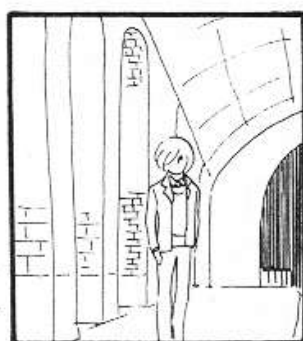
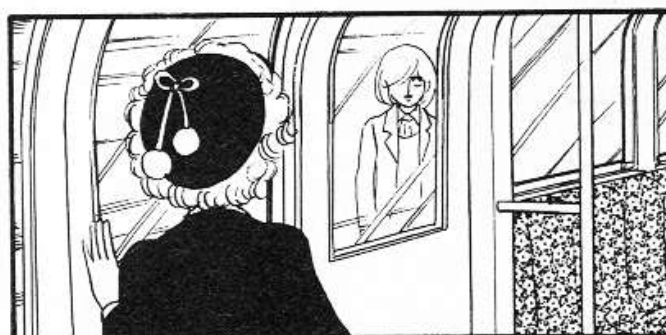
















だれ

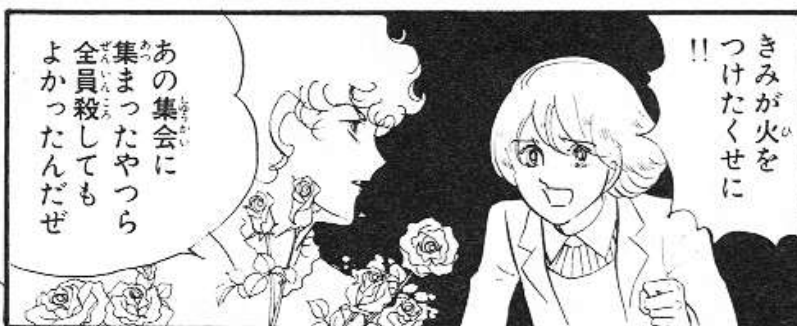


あの子…!!
なんだったと
思う!?



エデイス・
エヴァンズ!
きみに似てた
…!!
妹だよ…!!

ぼくたちが
殺した
シャロットの
!!



きみが火を
つけたくせに
!!

あの集會に
集まったやつら
全員殺しても
よかったんだぜ

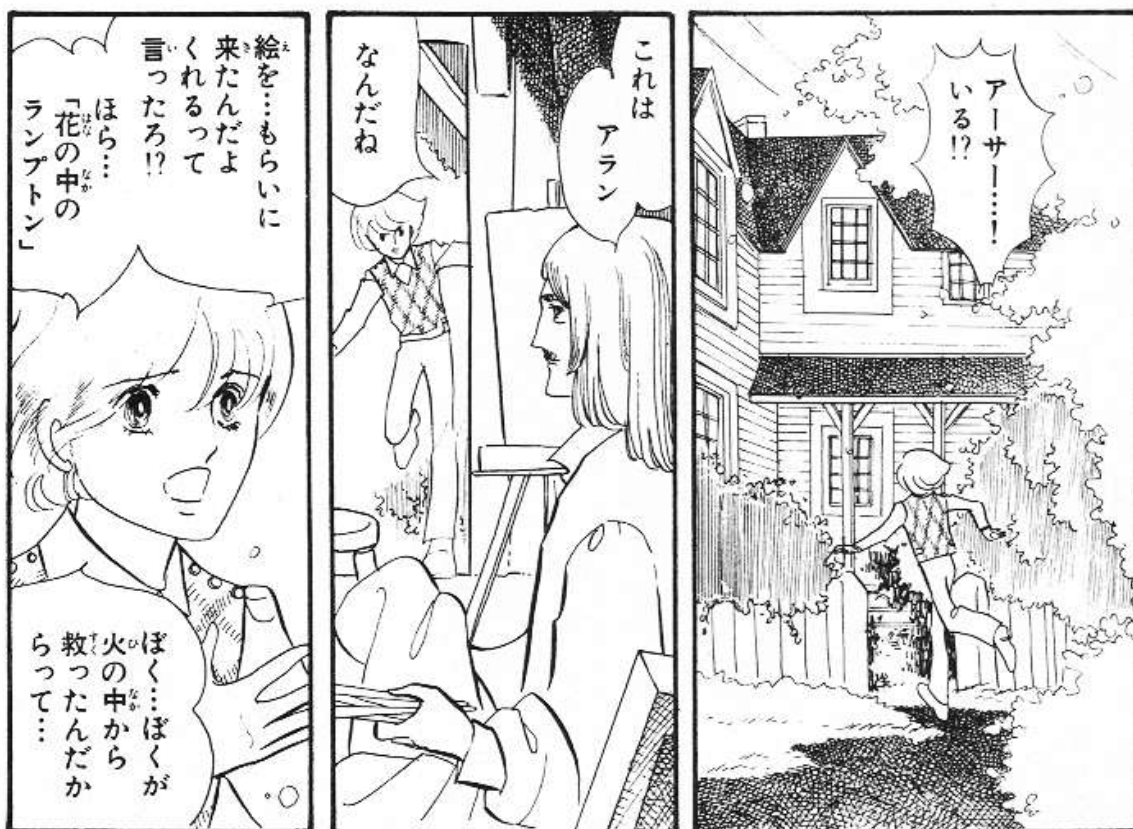


かわいそうにね



生かして
やってるのは
やつらにはなにも
できないってのが
わかってる
からさ

館と絵は
ちゃんと
燃やしたしね





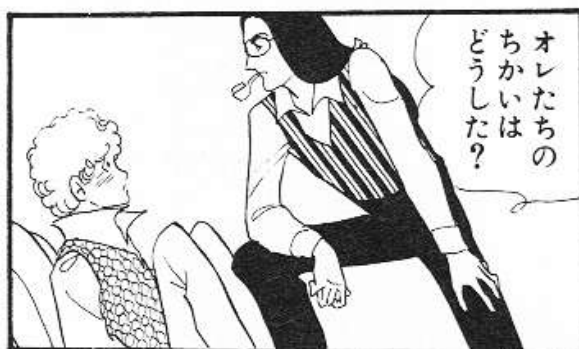


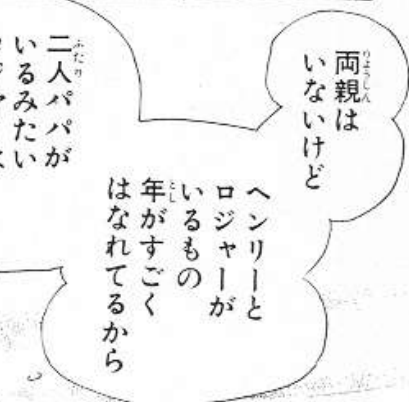




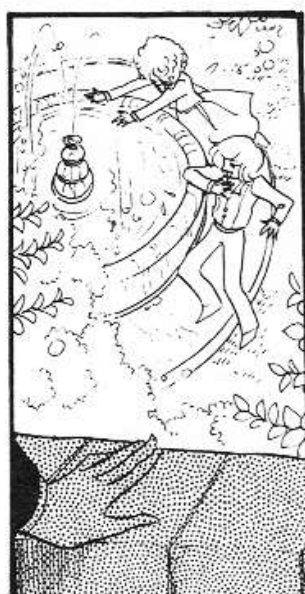






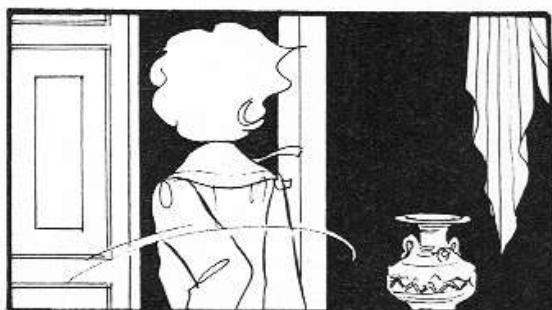


二人パパが
いるみたい
ロジャーは
お料理が
とてもうまいの









…わたし
ジョン・オービンは
一九〇〇年生まれ
なので



二十世紀の
明けそめと同時に
年をとり
始め

当年七十六歳

魔法のかおりのする記録



彼らに關しての



ガブリエル
高等中学校への
転入記帳
燃えてしまった
ランプトンの絵
リデル老婦人の話
マーシャルの話
エヴァンズの遺書……
テオの話

彼はどこにいる？

標本にして
はりつけて
おきたいほどだ
本のあいだに
はさみこみ
書棚に
カギをかけ！

あの夜——
一九三四年の
魔法の夜から
ずっと追って
いるのだ！







——青い目の
お友だち？
ううん

きみ
あれから
エドガーに
会った？



…なんてことだ
夢をみていたのか……

夢か？







…これよ
すてきでしょ？

エドガー！



そうよ 古い絵を
持ってるの
百年も昔のよ

きれいな絵よ
アーサー・トマス・
クエンソンて人の
かいた
「花の中の
ランプ」っていうの



彼は
アランって
いうの



…ボーイフレンドが
くれたんですもの



エデイス！
ゆずってくれ
！

あら…あの
だめよ だって



エデイスを
見張って
れば…

きっと！！

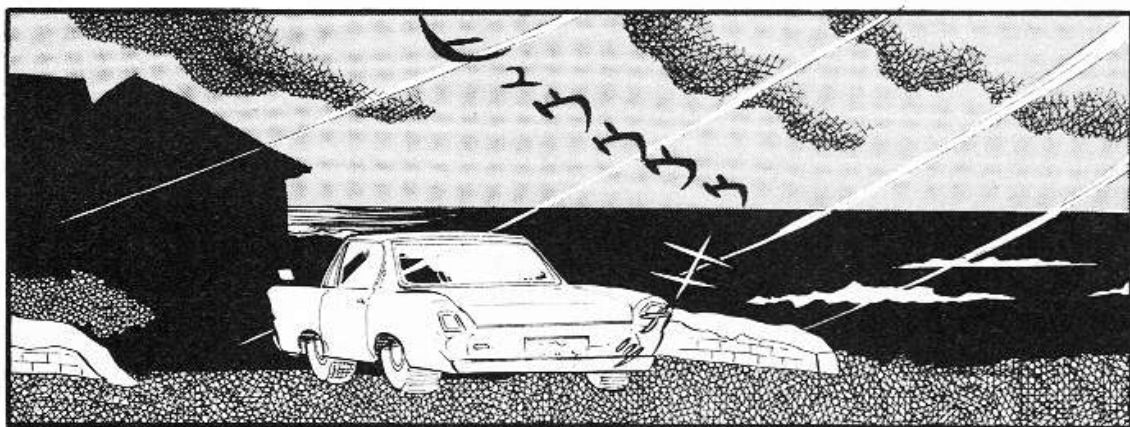


エドガー？
ええ
アランの
青い目の
お友だちね？

ついに
現れた！









知らないわ
わたしの役目は
カバンを
こうかん
することよ

ポビイ?

ポビイはどうした
いつもはヤツが
来るんだが



指が
ふるえてる
じゃないか
この女

……
なんか
しろうと
くさいな



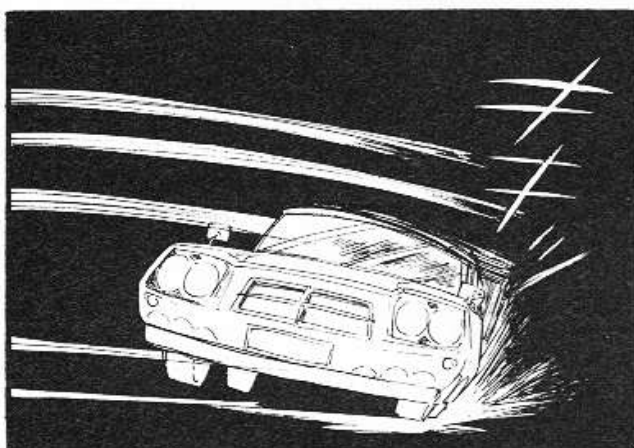
ぼくの
子孫じゃ
このていど

……盗品
売買って
とこか
ケチな
ことして
かせいでる
もんだ



……
人声
がする



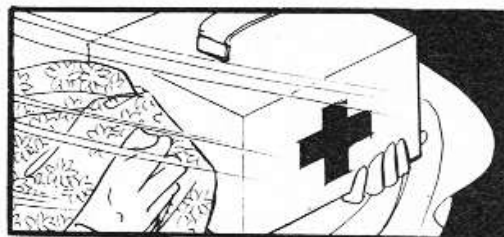


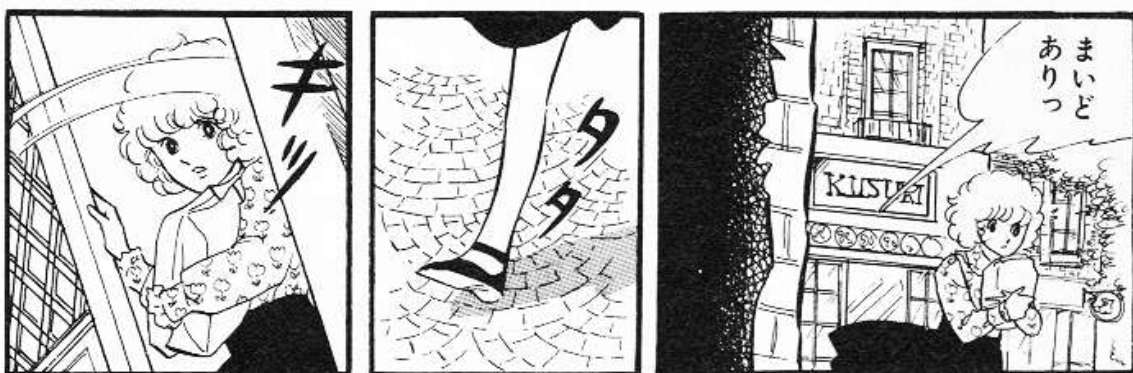


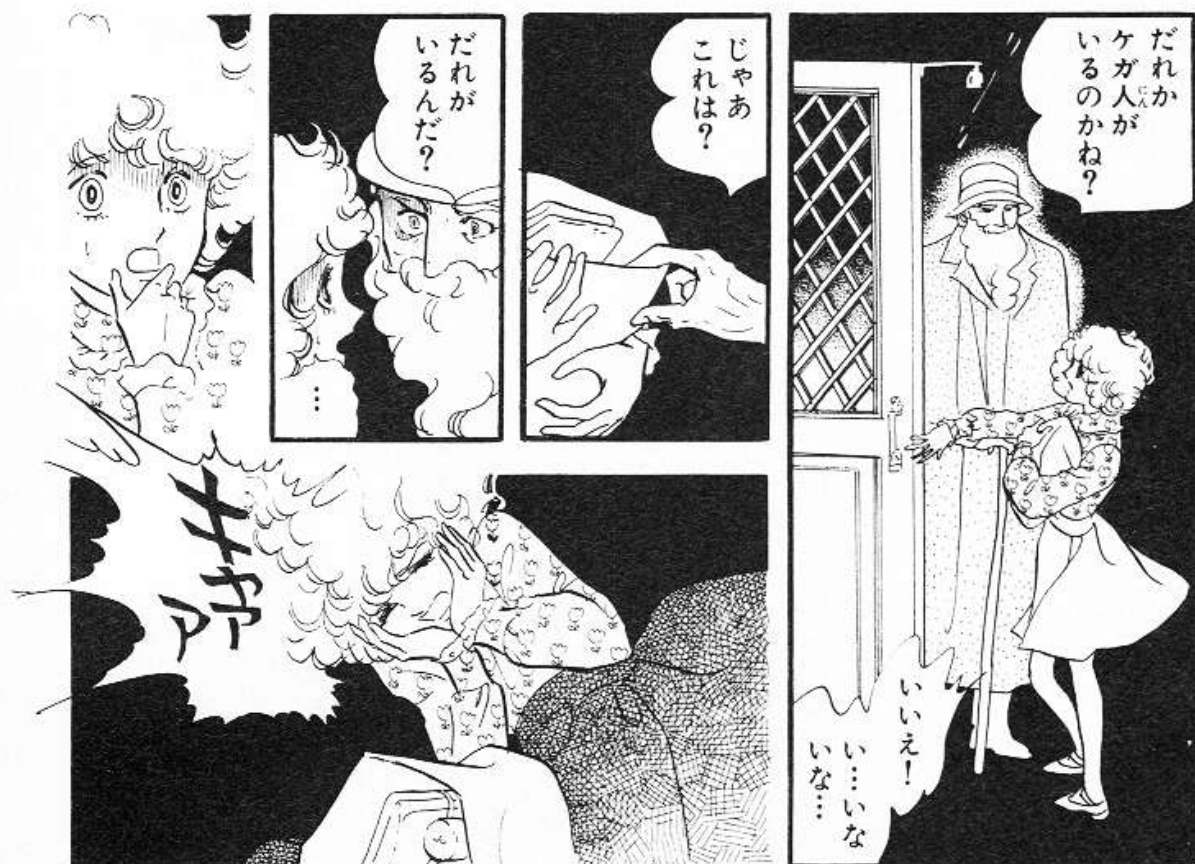




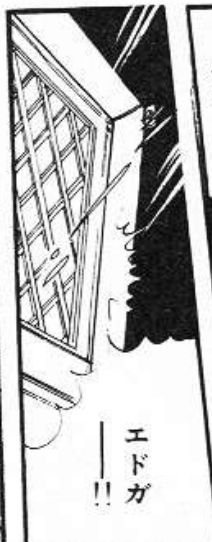














これがエヴァンズの
残した遺書だよ

ほかにいろいろ
あったが火事で
焼けてね

おケガが
ひどくなくて
よかったわ

聞いてますよ
わたしだから
エドガーのぶん
もあやまりに
来たのよ
でもわたしの
お友だちを
怪物あつかい
しないで



エデイス
わたしの話を
聞いとらんね



オービンさんて
夢想家ね
子どもみたい
……パンパネラ
ですって?

……
三十八年ぶりに
エドガーに
会ったとたん
このしまつ



……しかし
彼らは
紳士なのかね
エデイスは
大丈夫の
ようだし……

まったく年を
とった……年をとった

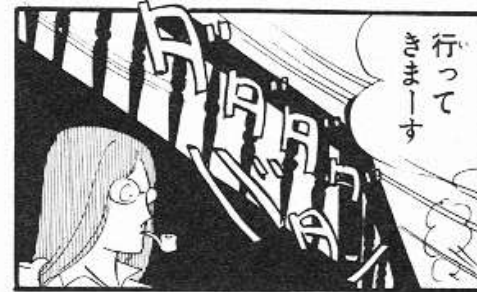


時が……



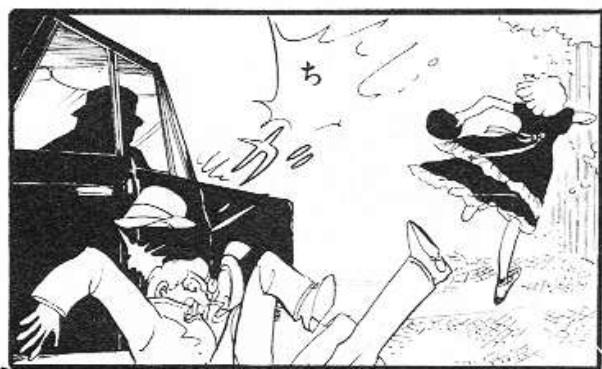
止まっている……





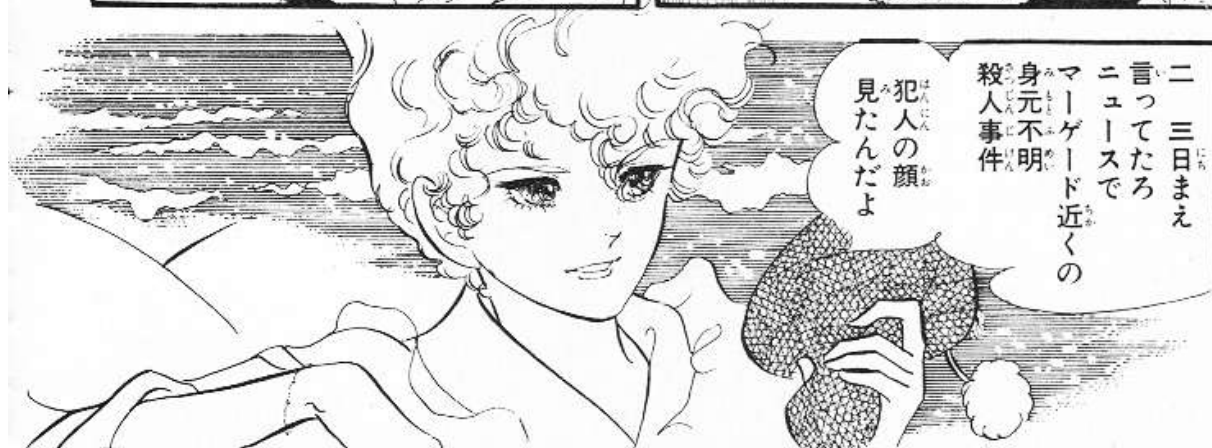
だってまる二日
アランに会ってないんですもの
あんなことがあって
エドガーのケガ
どうなった
かしら



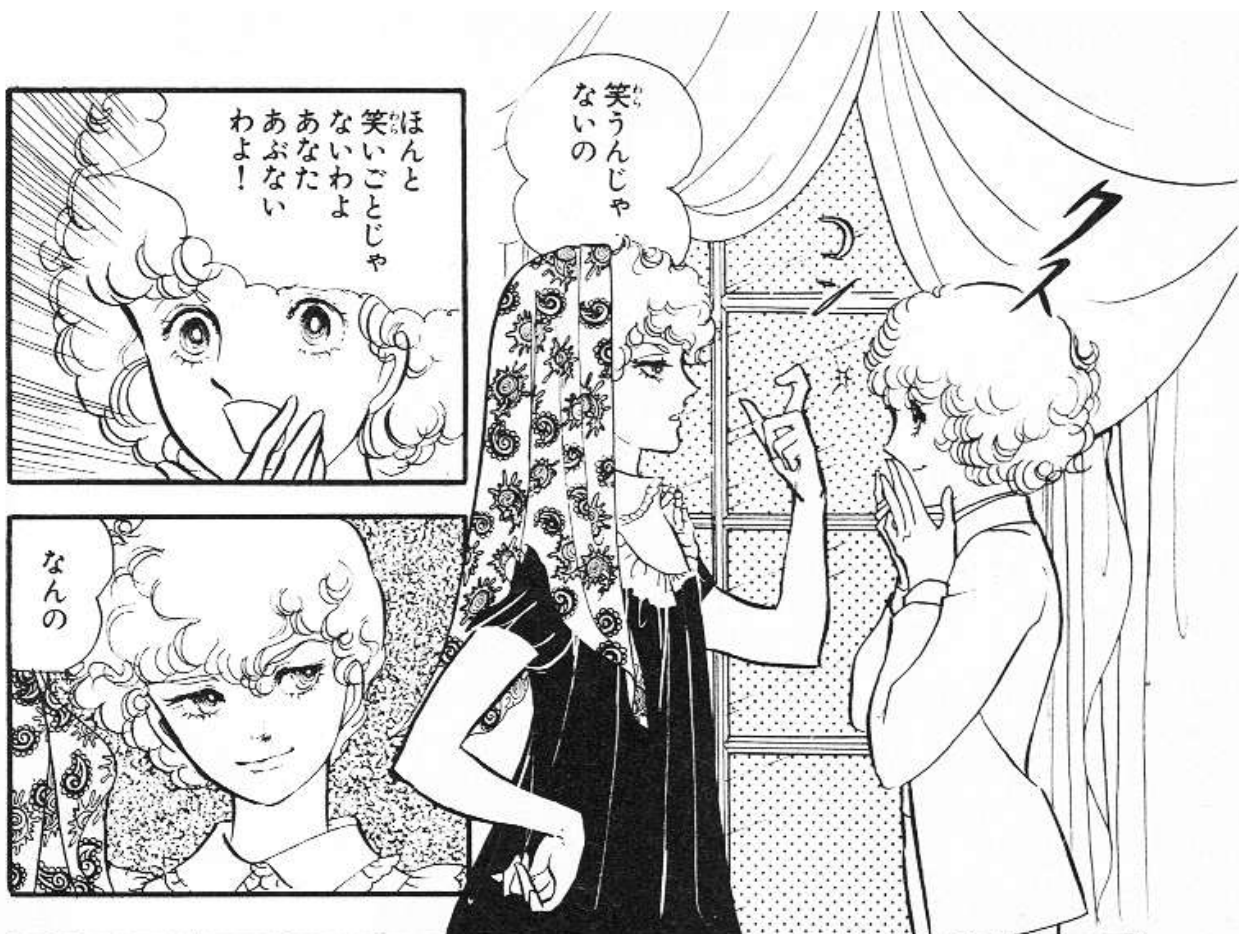


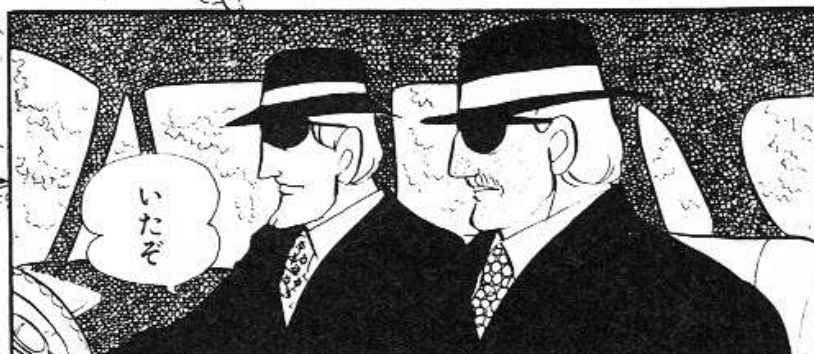
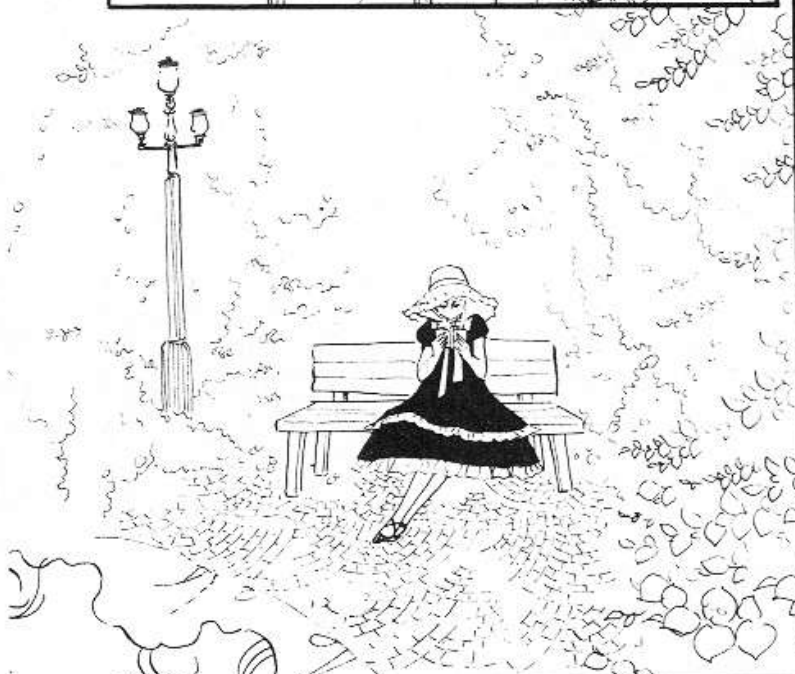


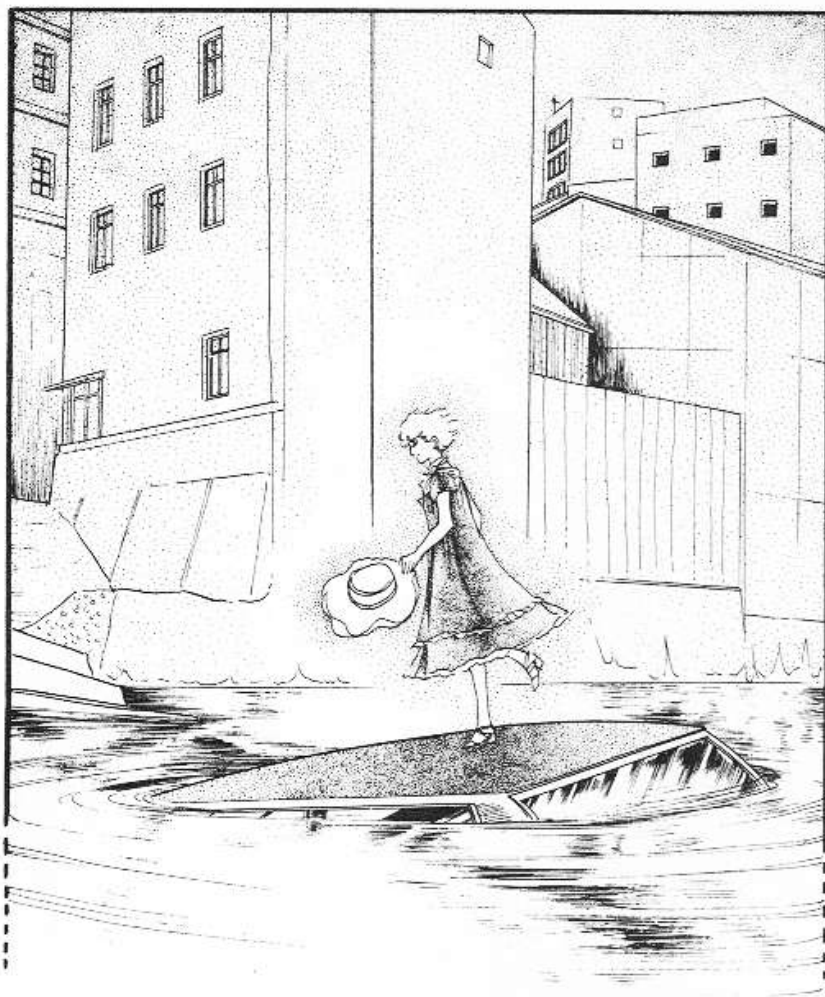








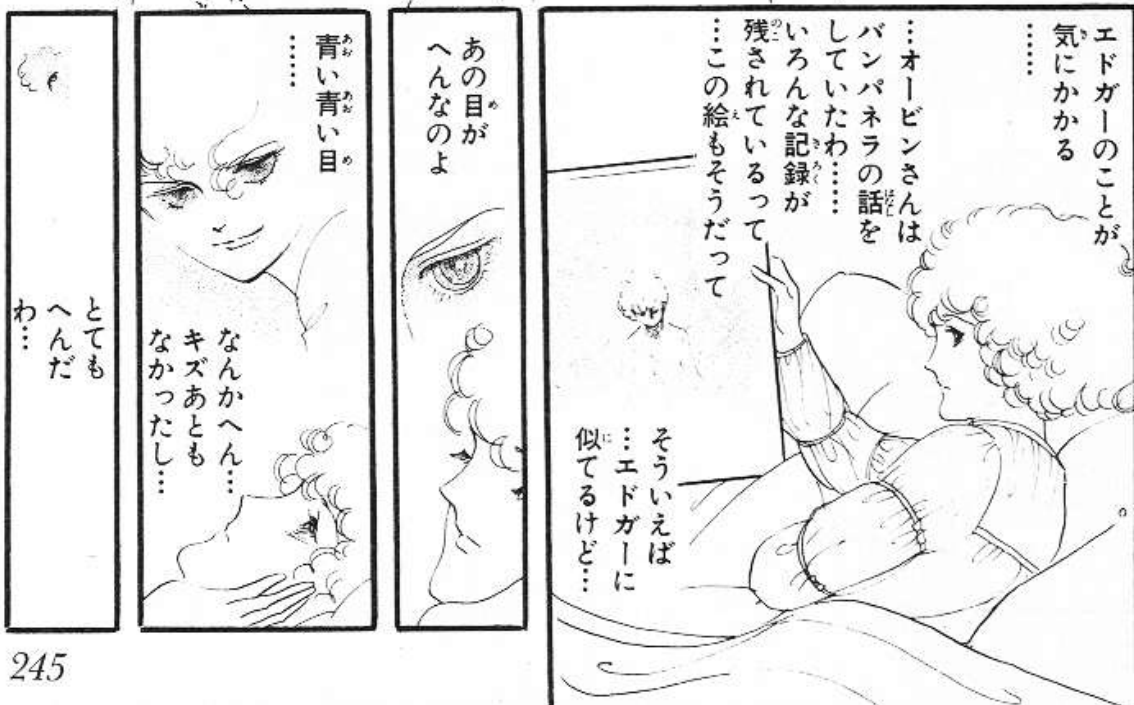


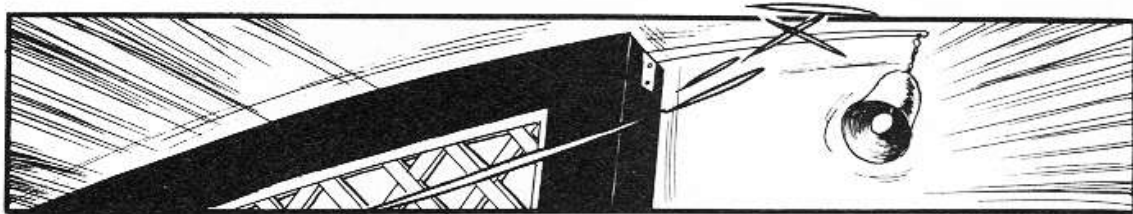


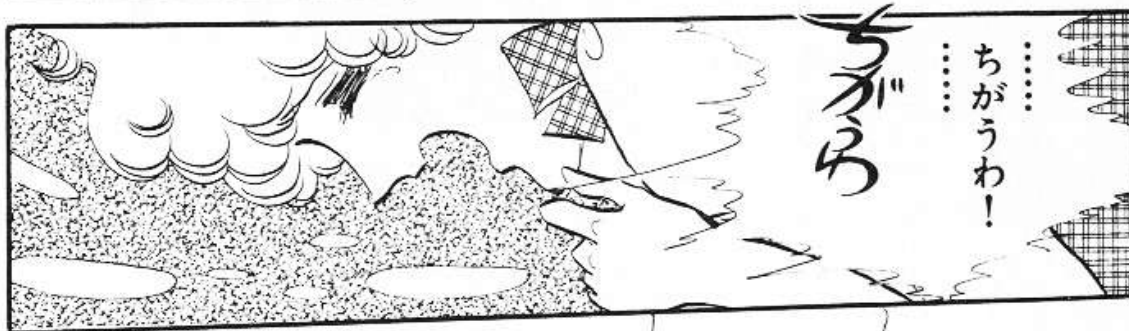




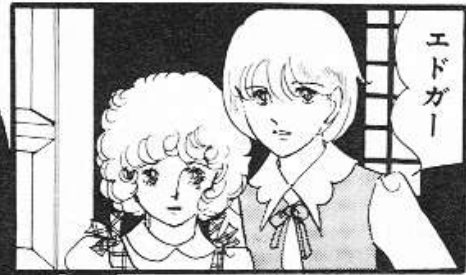




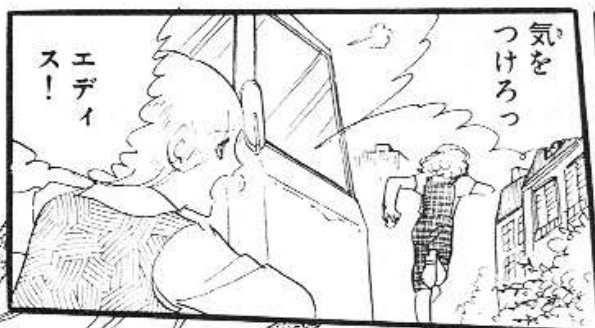


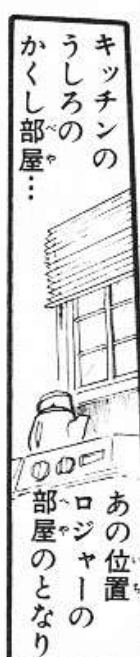
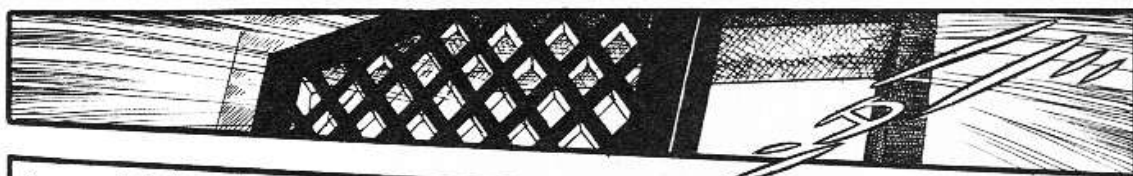
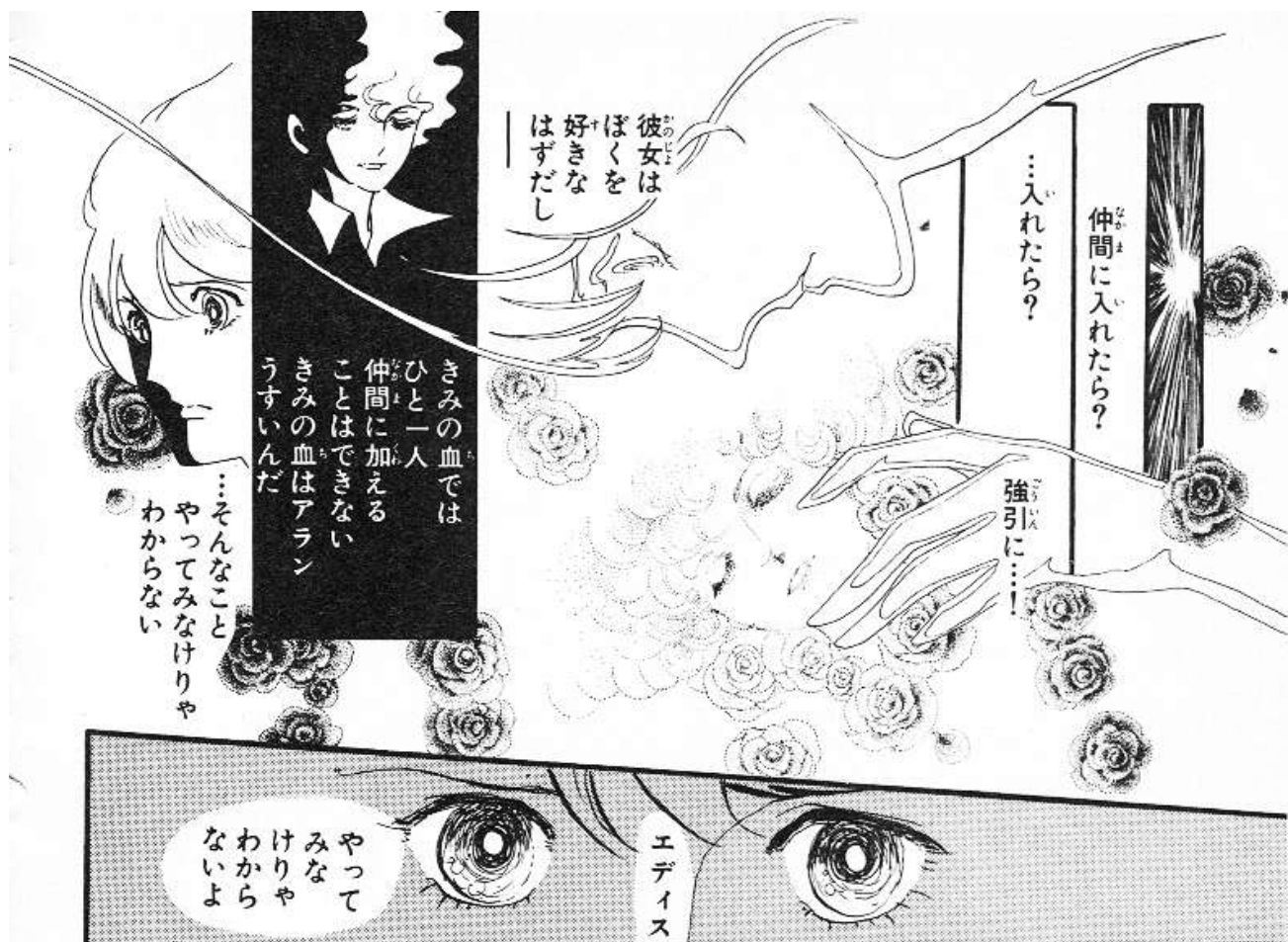






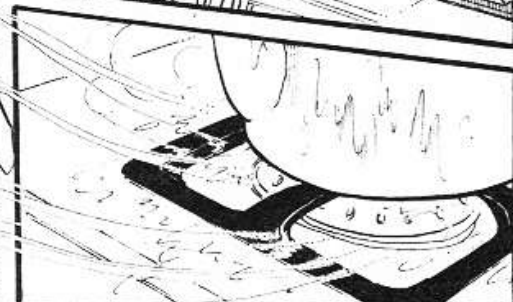
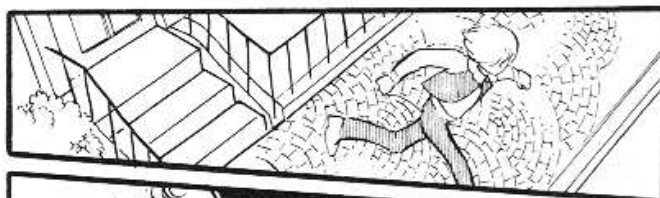
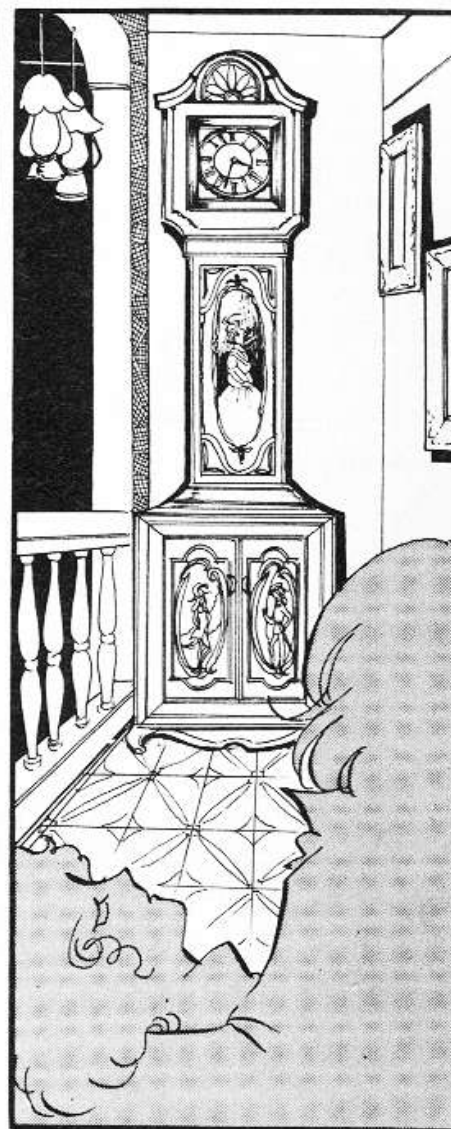






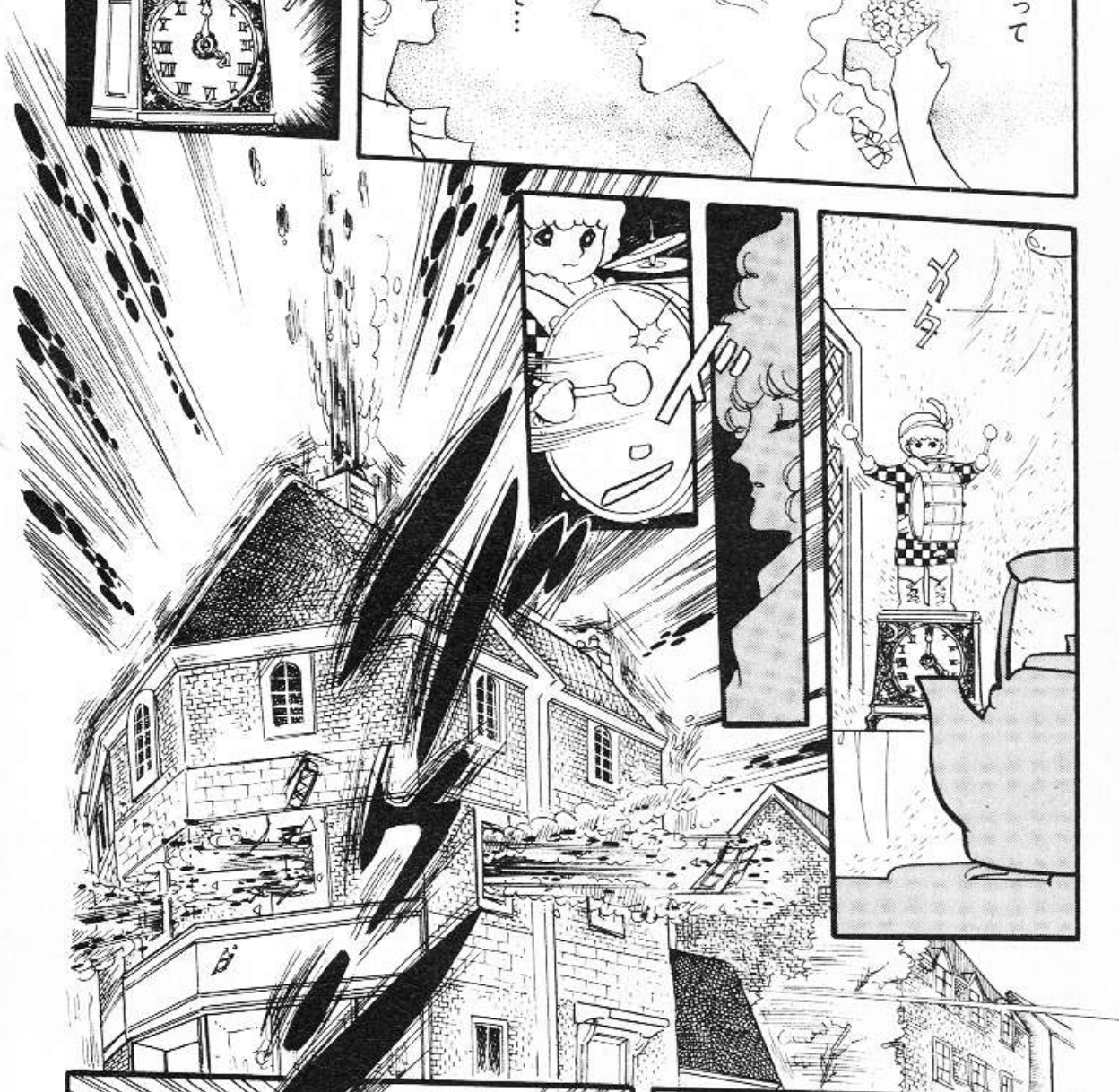
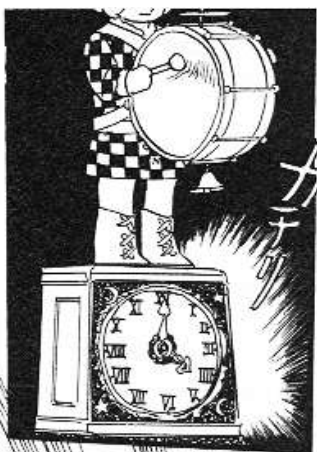




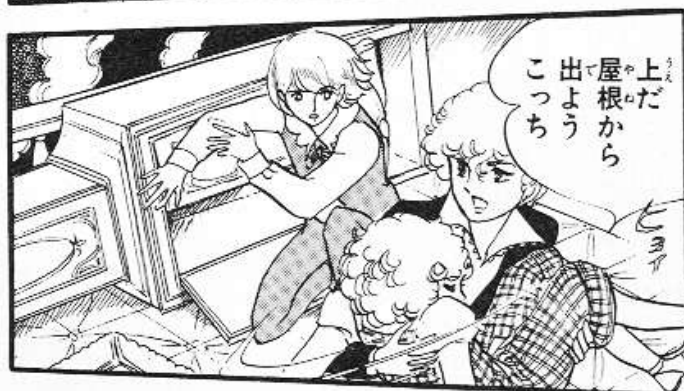
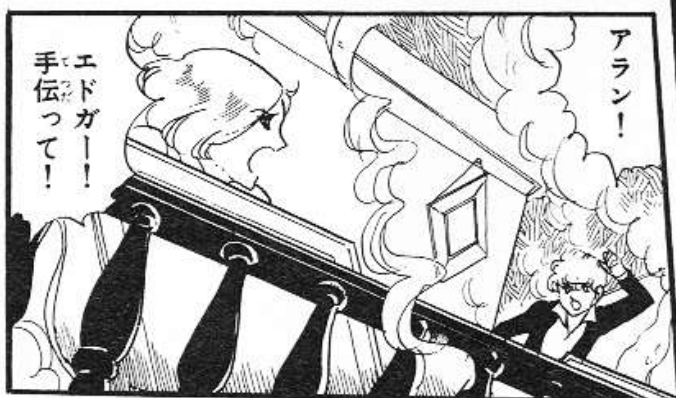






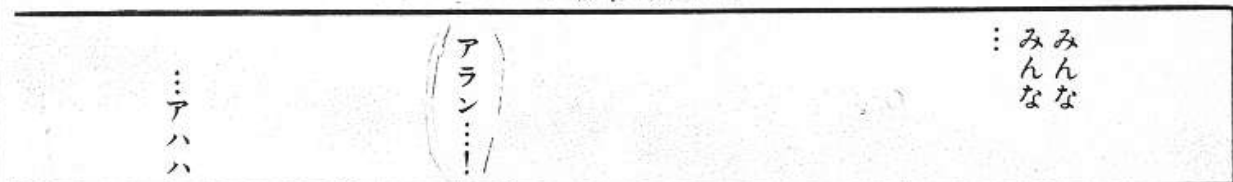
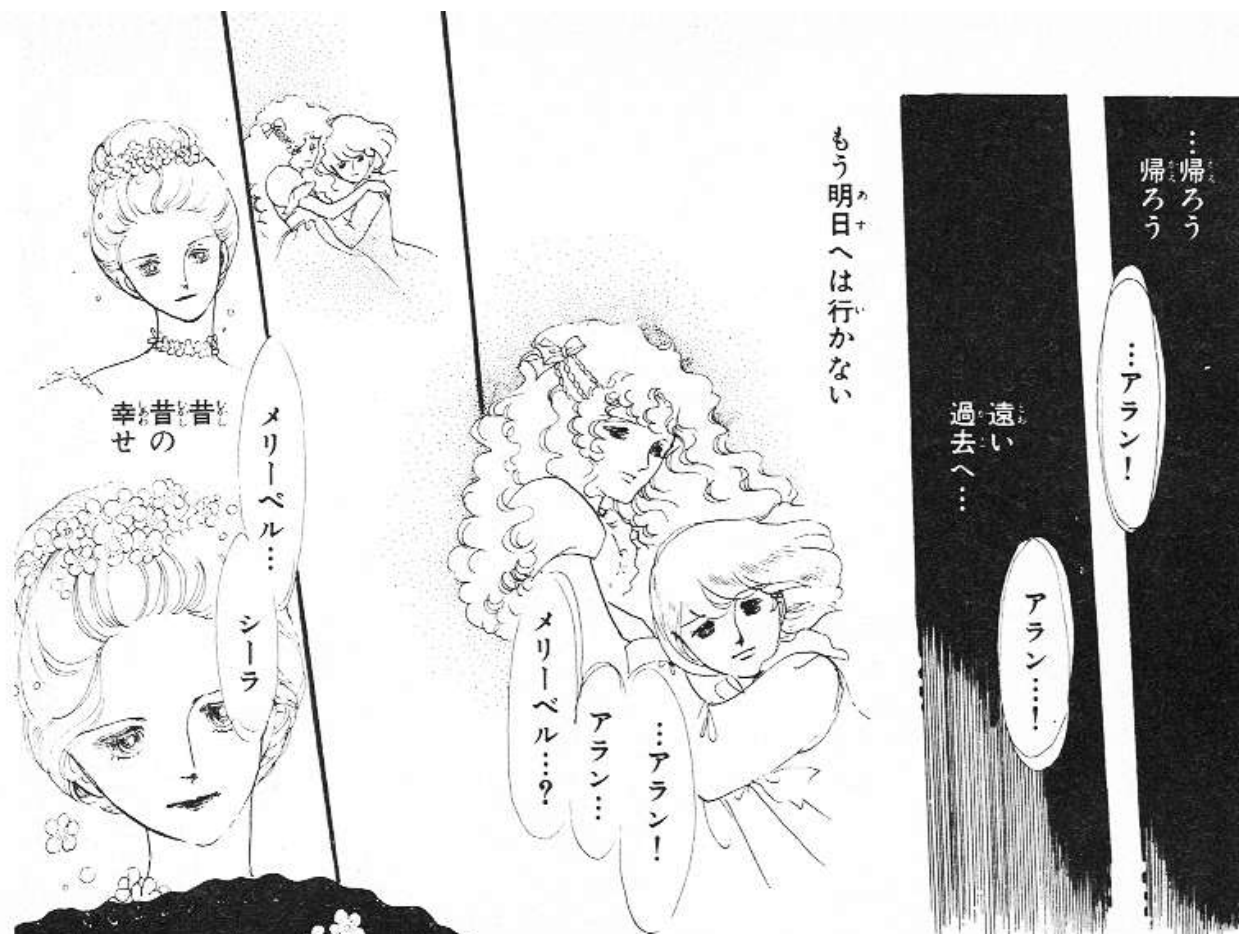


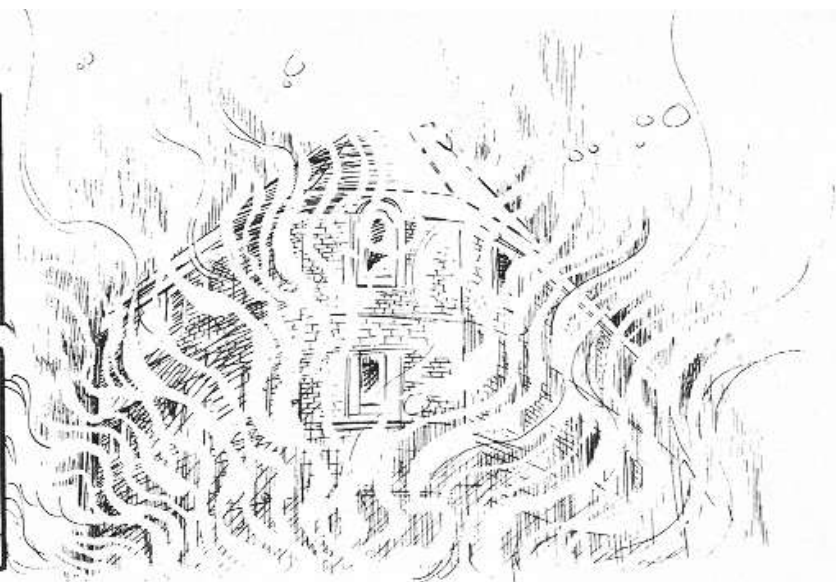
















公園の裏の
家
……
ここか？



……燃えて
しまったんだ
エドガー……
二度と
会えない……



……彼が
死んだんだ



ここになにを
しているのだ



あ……あなたは
だれだ？

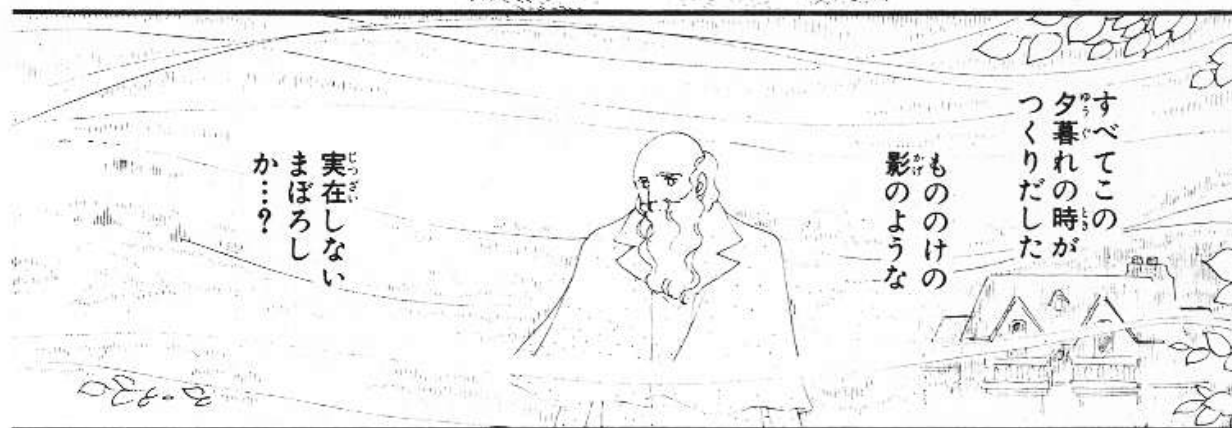
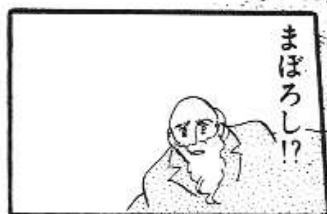


どこかに
いるに
きまつて
いる



バカな

バカな



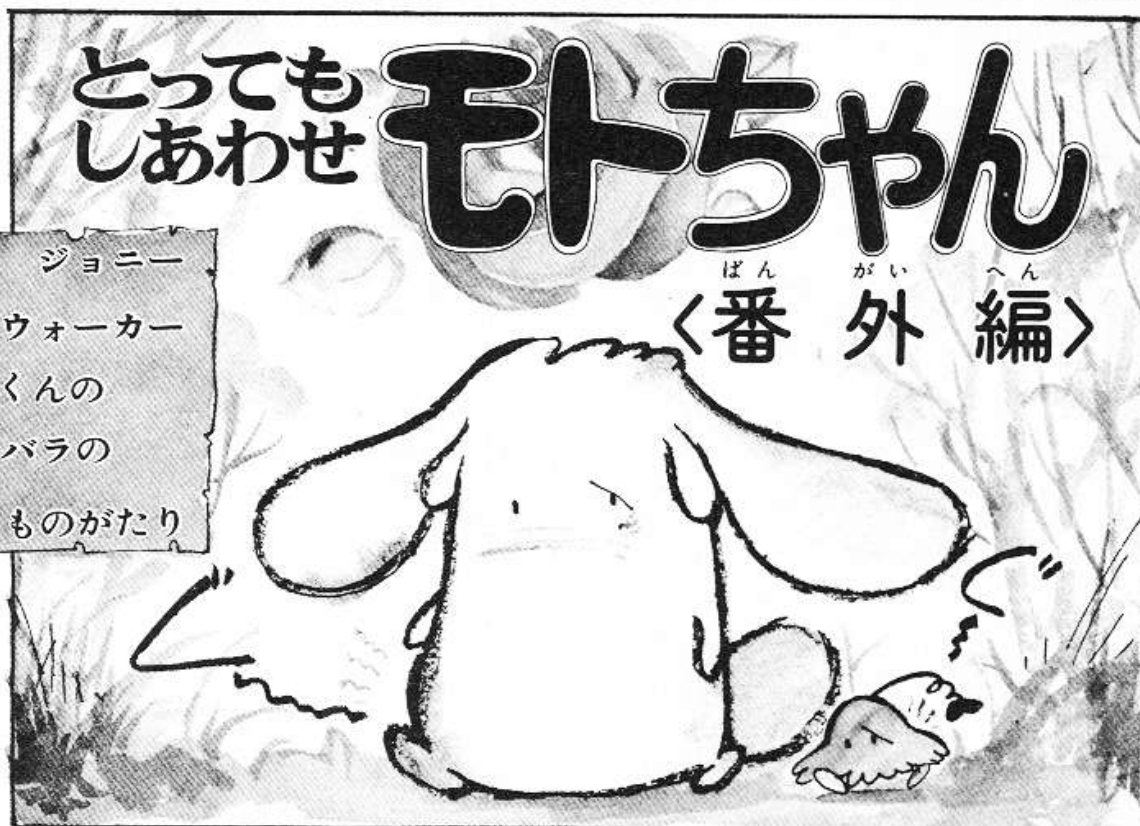


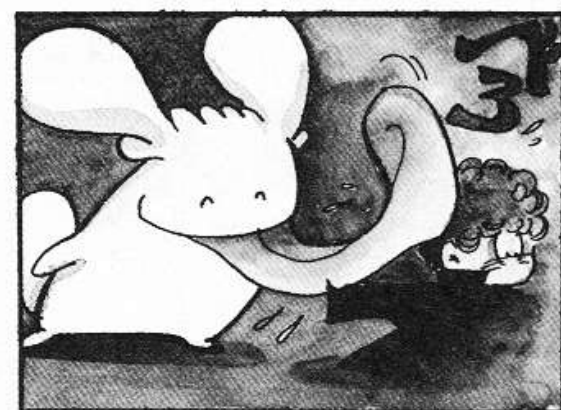
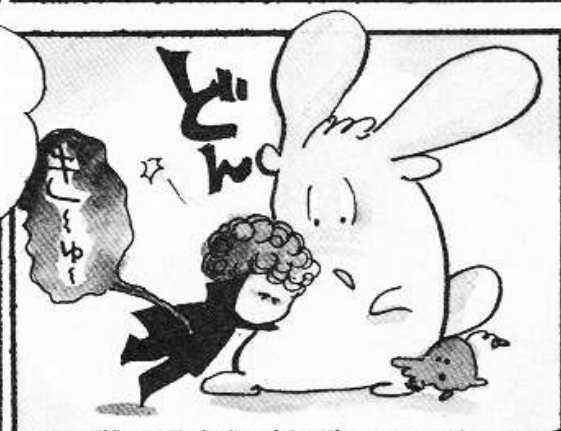
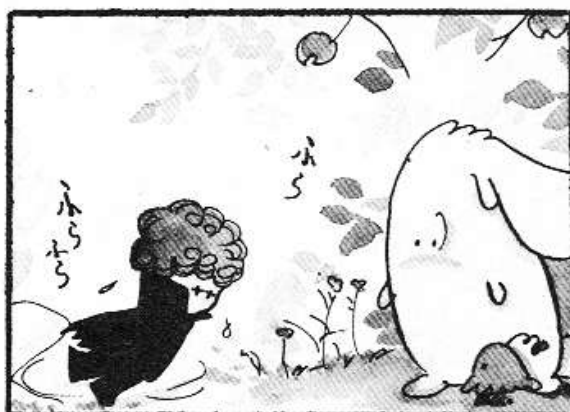


—エドガーおまえに
わたしのはるかなおまえに
そして そのポーの
一族によせて—と















あつちは
シニア(一世)
こっちは
ジュニア(二世)

バンパネラって
こんなもんだと
思ってたけど

バンパネラっ
てなーに

悪霊って
いってね！
悪いことの
もとみたい
なものね
いわば

カゼの
ビルス
みたいなの？
まあ そんな
ところね

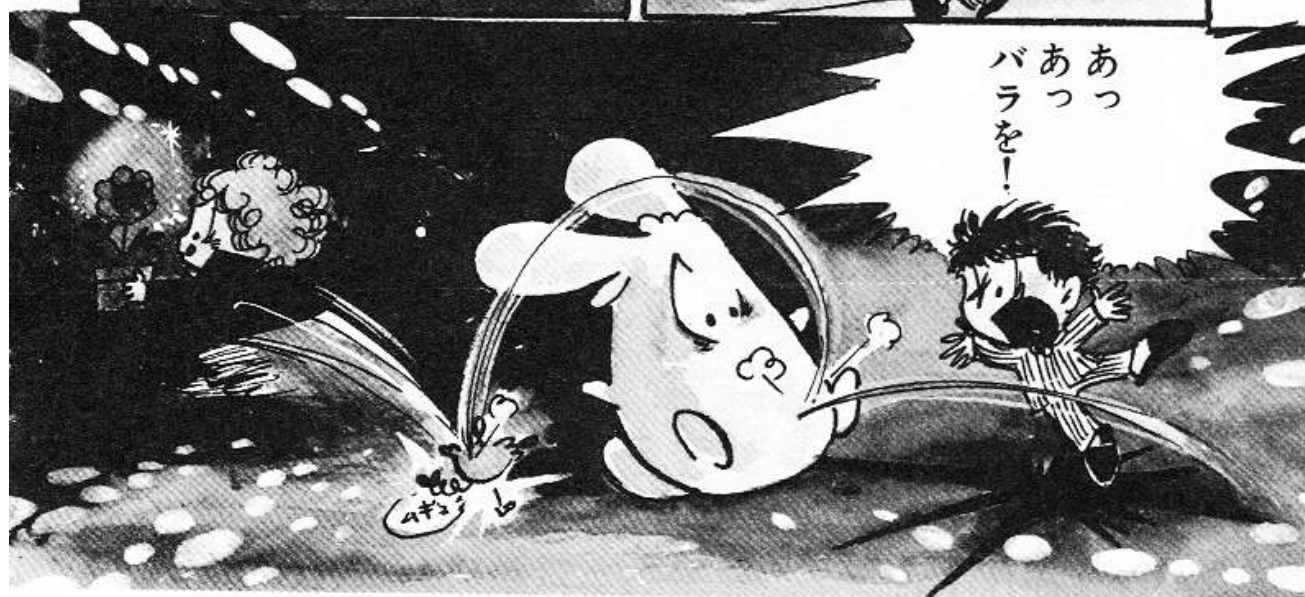
あんまり
だ！！

いっしょに
ねかせて

ウン

かみつく
なよ

スー
スー
ピー





かえせーっ
チェリー
ちゃんのおみまい
だぞ！



せつかく
咲かせた
のにー

まあま
とられた
ものは
あきらめ
て

チェリー
ちゃんに
やくそく
したのに



ぼくも
おなか
すいた

めだま
やき



吸血鬼
だって
おなか
すくでしょ

チェリー
ちゃんには
べつのお花を
あげたらいわ



わあ
きれい！



いただき
まーす！！



うーん
いい
におい



「とってもしあわせモトちゃん」

番外編

だれかこんな子を見つけたら どーぞ
赤いバラをあげてください……



ポ—の一族——完——